

メタルフォトのプレートの種類

たくさん種類

厚さ、サイズ、入り数すべてにたくさんのラインアップがあります。
表面状態も、サテン、マット、グロスを始め、ヘアラインパターンの大きな#4、
バーコード読み取り特性の良いもの、折り曲げられる物、あらかじめ着色された物等
いろいろな選択肢があります。

露光

露光光源、露光時間の確認と見直し

安全光はイエローランプ（虫除けライト可）です。
メタルフォトの安価で且つ最適な露光光源はケミカルランプ（捕虫用ランプ）です。
水銀灯、メタルハライドランプ、ハロゲン灯も使用可能です。
最適な露光時間は「スタッファーステップガイド」を露光して、ハーフトーンの間部分がかどの様に現れるかで決定されます。
定期的にスタッファーガイドを露光し光量をチェックすることは現像処理にも影響します。

現像、定着

現像、定着時間の検討

露光したスタッファーガイドの黒化で現像の進み具合を把握します。
新液の場合、原液の使用の場合にはほんの数秒、原液：水（1：3）の使用の場合でも十数秒で現像が完了します。
いままで、時間設定をして現像している場合は、とりあえず目視による現像の判定に切り替え、メタルフォト現像の感覚を掴んで頂く必要があります。
メタルフォト用の自動現像機を使用すると、作業の標準化が図れトラブルもほとんど無くなります。

かぶり防止や減力処理には一般的な写真現像の化学的薬品の使用が有効です。
かぶり防止剤としてはブロムカリ、減力剤としてはエチレンジアミン四酢酸（ナトリウム鉄（iii）塩）等が知られています。
これらの利用に付きましては当社は責任を持つものではありません。

イメージ・インテシファイ（調色）

調合の手順

まず金酸溶液を希釈しておき、これにチオシアン酸溶液を混合していきます。
プレートの調色にかかる時間はアルフォトと同じですが、混合後直ぐに使用可能です。
調色する事で、耐侯年数が30年以上へ伸びます。

カラーリング

各種カラーリングがあります。

メタルフォト用の着色のラインアップ
水性の浸漬用の染料（グランドカラー）
油性の刷り込みタイプの染料（スポットカラー）
油性のスクリーン印刷インク（ポリカラーインク）

封孔処理

封孔処理はデリケート（金属イオンの混入を避ける）

メタルフォト用のシーリング液があります。
これはこれまでの封孔時間を短縮できる商品です。
もしこれまでの封孔処理で何か問題があったとすると、その原因の殆どは金属イオンの混入にあったと考えられます。
封孔浴槽内の封孔溶液が白濁したり濁っていたり、封孔ラックにスマットが附着して汚くなっていると、封孔処理は上手く行きません。

後処理

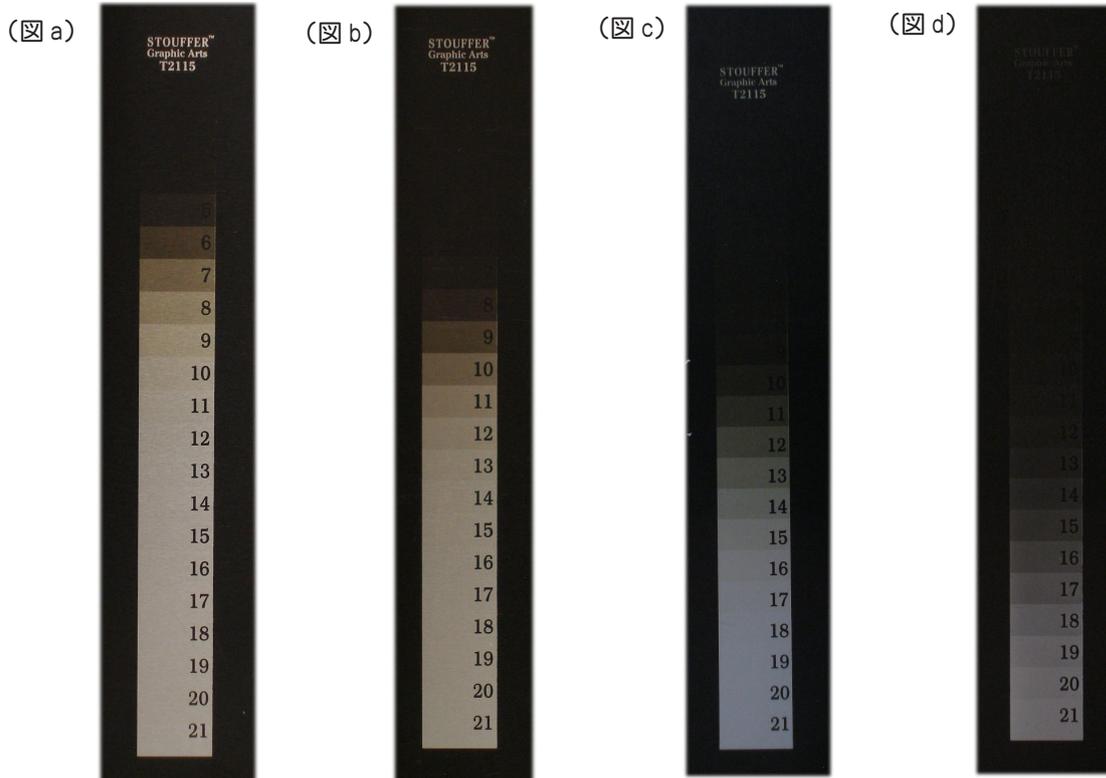
メタルフォト用のトリートメント、ポリッシャーがございます。

スタッファァーガイドの使い方

最適な露光時間を求める

メタルフォトの安価で且つ最適な露光光源はケミカルランプ（捕虫用ランプ）です。水銀灯、メタルハライドランプ、ハロゲン灯も使用可能です。最適な露光時間は「スタッファァーガイド」を露光して、ハーフトーンの中間部分がどの様に現れるかで決定されます。定期的にスタッファァーガイドを露光し光量をチェックすることは現像処理にも影響します。

- スタッファァーガイドをメタルフォトの上に置き露光し通常の方法にて現像してみます。
- スタッファァーガイドのハーフトーンの中間部が8-11の目盛位置になっている場合（図 b）露光は適切です。
- スタッファァーガイドのハーフトーンの中間部が8以下の場合（図 a）は露光がアンダーです。露光時間を長くする、ランプの電圧を上げる、ランプの種類を見直す等の処置が必要です。
☆注意
露光がアンダーな場合には、現像で濃度を稼ぎたくなり、現像がオーバーになりがちです。現像がオーバーになると、白抜け部分にも黒点が発生し易くなります。まずは適切な露光量が不可欠です。
☆ただし網点画像の露光の場合にはこの程度以下が適切です。
- スタッファァーガイドのハーフトーンの中間部が12以上の場合（図 c,d）現像は早めに進行するため、現像があまくなったり、細い白抜け部分がつぶれたりしてシャープな画像が期待できません。



スタッファァーガイドを利用した現像

現像時間の検討

露光したスタッファァーガイドの黒化で現像の進み具合を把握します。ガイドの周りの黒化度で現像の進行を判断します。新液の場合、原液の使用の場合にはほんの数秒、原液：水（1：3）の使用の場合でも十数秒で現像が完了します。いままで、時間設定をして現像している場合は、とりあえず目視による現像の判定に切り替え、メタルフォト現像の感覚を掴んで頂く必要があります。メタルフォト用の自動現像機を使用すると、作業の標準化が図れトラブルもほとんど無くなります。

かぶり防止や減力処理には一般的な写真現像の化学的薬品の使用が有効です。かぶり防止剤としてはブロムカリ、減力剤としてはエチレンジアミン四酢酸（ナトリウム鉄（iii）塩）等が知られています。これらの利用につきましては当社は責任を持つものではありません。